

道 徳

1 原典教科書と分冊の方針

(1) 原典教科書

発行者：教育出版株式会社 書名：「中学道徳1～3 とびだそう未来へ」

(2) 分冊と原典教科書との対応

学年	分冊	原典教科書の対応箇所
第1学年	1-1	さあ、道徳を始めよう！ この教科書で学べるテーマ 1 ともだち 2 おはよう 3 「どうせ無理」をなくしたい 4 二人の言い分 ひろば「自分も相手も大切にしたい伝え方をしよう」 5 あなたならどうしますか ひろば「誰がいじめを止めるのか」 6 いのちを考える 7 自分で決める 8 ごめんね、おばあちゃん 9 難民とともに ～緒方貞子～ 10 ヤクーバとライオン 11 裏庭でのできごと やってみよう 12 ルールとマナー ひろば「ソーシャルメディアのルールとマナー」 13 一日前に戻れるとしたら ひろば「防災について考えよう」 14 オリンピックの土俵をみざして 15 けやき中を誇りに 16 不自然な独り言 やってみよう 17 ショートパンツ初体験 in アメリカ 18 「ちがひ」について考えよう ひろば「お互いの存在をいかし合える場」
	1-2	19 選ぶということ 20 全ての人に安心、安全な水を 21 レイ之助が望んだこと

(別紙2)

		<p>22 幸せな仕事って</p> <p>23 富士山を守っていくために</p> <p>24 伝えたい味</p> <p>25 雅司のとまどい</p> <p>26 それは個性</p> <p>やってみよう</p> <p>27 よく生きること、よく死ぬこと</p> <p>28 私に宇宙のプレゼント</p> <p>ひろば「自分らしく堂々と生きよう」</p> <p>29 “庶民の笑い”を絶やさない ～落語家・桂米朝さんの生涯～</p> <p>30 オーロラの向こうに</p> <p>31 古びた目覚まし時計</p> <p>32 「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の復元にかけた思い～</p> <p>33 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つけたもの～</p> <p>34 もったいない</p> <p>35 僕の応援歌</p> <p>「よりよく生きる」って、どういうことだろう？</p> <p>一年間の道徳科で学んだこと</p> <p>今学期（今期）の道徳科の学びを振り返ろう</p> <p>一年間の道徳科の学びを振り返ろう</p>
第2学年	2-1	<p>さあ、道徳を始めよう！</p> <p>この教科書で学べるテーマ</p> <p>1 お菓子、どうする？</p> <p>2 まるごと好きです</p> <p>やってみよう</p> <p>3 先輩</p> <p>4 あなたの声、心に届け</p> <p>ひろば「気づこう『無意識の思いこみ』」</p> <p>5 最優秀</p> <p>6 留学で考えさせられたお金</p> <p>7 六千人の命のビザ</p> <p>8 心のアンテナ</p> <p>9 本当の友達って</p> <p>10 風に立つライオン</p> <p>11 分身ロボットでかなえたいこと</p> <p>12 SNS とどう付き合う？</p> <p>ひろば「SNS について考えよう」</p> <p>13 あんパンとお礼状</p> <p>14 清掃はやさしさ</p> <p>15 夜の果物屋</p> <p>16 まだ食べられるのに</p>

(別紙2)

		ひろば「暮らしの中のSDGs」 17 「べつの道」へ ～レイチェル＝カーソンのメッセージ～ 18 違反摘発
	2-2	19 心を鍛える 20 狂言師・野村萬齋物語 21 わたしのせいじゃない 22 由紀のいら立ち 23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ 24 「金のおの」その後 25 地下鉄で やってみよう 26 国境なき医師団・貫戸朋子 ひろば「たくましく生きる」 27 たったひとつのたからもの 28 伝えるということ 29 三年生を送る会 30 ハッチを開けて、知らない世界へ 31 五万回斬られた男・福本清三 32 復旧にとどまらず、復興を ～後藤新平～ 33 サッカーの種をまく 34 ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師 ～肥沼信次の生涯～ 35 語りかける目 「よりよく生きる」って、どういうことだろう？ 一年間の道徳科で学んだこと 今学期（今期）の道徳科の学びを振り返ろう 一年間の道徳科の学びを振り返ろう
第3学年	3-1	さあ、道徳を始めよう！ この教科書で学べるテーマ 1 自分の思い・相手の思い 2 藤井聡太の学び方 3 僕は友達を裏切ったのか？ 4 いのちの花のプロジェクト 5 卒業文集最後の二行 ひろば「信頼関係を築こう」 6 あなたは顔で差別をしますか ひろば「誰もが自分らしく」 7 昨日より今日、今日よりも明日 8 昇き縄 9 父のひと言 10 無限の道 11 テーブルの卵焼き

(別紙2)

		12 歩きスマホをどうするか ひろば「歩きスマホについての意識調査」 13 二通の手紙 14 償い 15 美佐の進路 16 平和をつなぐ 17 変わりゆく地球 ひろば「アラスカを見つめ続けて」
	3-2	18 校長先生の模擬面接 やってみよう 19 カーテンの向こう 20 専門家であること 21 若者議会 22 ひび割れ壺 23 あふれる愛 24 抗議する選手たち 25 サルも人も愛した写真家 26 家族の思いと意思表示カード ひろば「命の尊さについて考えよう」 27 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓 28 足袋の季節 29 旅立ちの日に 30 もう一つの時間 31 駐車場係として 32 憧れの消防団 33 世界に誇る「BONSAI」 34 琵琶湖とともに 35 カムイモシリとアイヌモシリ 「よりよく生きる」って、どういうことだろう？ 一年間の道徳科で学んだこと 今学期（今期）の道徳科の学びを振り返ろう 一年間の道徳科の学びを振り返ろう

(3) 分冊の考え方

各学年2分冊とした。道徳科の性格上、最初の単元から順に学習するだけでなく、生徒や学級の実態に応じて、学習する単元の順序が前後することもある。そのため、各学年の第1巻には全巻目次を掲載した。

2 編集の具体的方針

(1) 編集にあたっては、基本的には原典教科書に大きな変更を加えることなく点字化を行った。

(別紙2)

(2) 点字を使用する生徒の学習活動として成り立ちにくいものや理解しにくい題材については、点字表記の特性も踏まえて、以下のような「変更」「追加」「削除」を行った。

- ① 生徒の生活経験からは理解が難しい事柄については、備考欄に配慮事項として記載した。単元の中で取り上げることで、生徒の生活経験を広げることが望ましい。

【例】第1学年「34 もったいない」— 鉛筆ホルダー
第2学年「18 違反摘発」— 新聞の投書欄

- ② 視覚的な美しさや感動など、見なければ理解が難しいものについては、配慮事項として記載した。

【例】第1学年「30 オーロラの向こうに」— オーロラ
第2学年「35 語りかける目」

- ③ 本文中の登場人物の視覚を使った活動については変更しないが、生徒自身の視覚を伴う活動については修正を行った。

【例】第1学年「16 不自然な独り言：やってみよう」— 困った様子で周りを見回しています。
→ 困った様子で立っています。
第2学年「16 まだ食べられるのに」— この写真を見てください。何か気づくことはありませんか。→ここに1枚の写真があります。写っているのは、袋詰めされたたкусんのおいしそうなパンです。

- ④ 表音文字である点字の特性を踏まえて、必要に応じて漢字の説明や意味の説明を追加した。

【例】第1学年「16 不自然な独り言」— 縁石(えんせき)
第3学年「35 カムイモシリとアイヌモシリ」—
不漁—魚が捕れないこと 不猟—鳥獣が捕れないこと

- ⑤ 点字表記の特性を踏まえて、番号や記号をつけたり、本文と区別したい部分を実線枠、生徒の作品等を点線枠で囲んだりして、全体の構成がわかりやすいように修正を行った。

【例】第1学年「12 ルールとマナー」— SNSの画面を点線枠で囲んで表記
第3学年「ひろば 誰もが自分らしく」— 各ポスターに番号を付加、実線枠で囲んで表記

- ⑥ 学習活動の中で、表を作成したり空欄に書きだしたりする課題では、生徒自身が実際にノートに筆記できる形式に修正を行った。

【例】第1学年「18 『ちがい』について考えよう」
第2学年「2 まるごと好きです：やってみよう」

(3) 写真や絵の扱いについて

- ① 写真や絵、地図は原則として削除した。題材の理解の助けとなるもの、生徒の興味関心を喚起するものについては、絵の説明や写真の説明、キャプションを加えた。

【例】第1学年「33 マンションの椅子～熊本地震の中で見つけたもの～」— 写真の説明
第2学年「32 復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～」— 後藤新平の生没年

- ② 題材の理解の助けとなる地図やグラフについては簡略化して点図にした。

(別紙2)

- 【例】第1学年「9 難民とともに～緒方貞子～」― クルド人が住む地域の地図
第2学年「7 六千人の命のビザ」― リトアニア周辺の国々の地図

③ 漫画やイラスト、写真やグラフなどが主となった題材は、場面の説明を加えたり、題材のねらいに沿った形で文章化したりするなどした。漫画やポスターは実線枠の途中に、(マンガ) (ポスター) と表記した。

- 【例】第1学年「26 それは個性」
第2学年「21 わたしのせいじゃない」

(4) 障害や病気に関連した題材について

障害や病気に関する内容が取り上げられている単元が複数ある。生徒の実態に応じたきめ細かい指導の工夫及び配慮が必要である。

【例】第3学年「6 あなたは顔で差別をしますか」― 外見による差別
また、障害について触れた単元については、当事者の視点を加えることで、より深い学びにつなげていくことが望ましい。

【例】第1学年「16 不自然な独り言」― 視覚障害者への援助
第3学年「26 家族の思いと意思表示カード」― 眼球の提供

(5) 「まなびリンク」について

今回の改訂で、「まなびリンク」が「教材解説」と、関連するウェブサイト等にリンクする「補足資料」「動画」の3種類となった。補足資料は視覚障害のある生徒にとって利用しづらいものもあるが、役に立つものもある。(解説) (資料) (動画) として、本文の見出しの後に記載した。

3 編集の具体的内容

(1) レイアウトについての、全学年に共通の変更等は下記のとおりである。

- ① 目次にある「教科書に出てくるマーク」とテーマを表す言葉は、「見出しの言葉」とし、次のように変更した。
 - (自分自身) ― 自分自身について考える教材
 - (人との関わり) ― 人との関わりについて考える教材
 - (集団や社会) ― 集団や社会との関わりについて考える教材
 - (生命や自然、崇高なもの) ― 生命や自然、崇高なものとの関わりについて考える教材
 - (問い) ― 学習の見とおしをもったり、学習テーマを共有したりするための問いです。
- ② 「やってみよう」や、本文中の手紙、地色の違う部分などは実線枠で囲み、他の部分と区別できるようにした。生徒の作品等については点線枠で囲んだ。
- ③ イラストのカエルには「カンガエル」、登場する生徒にもそれぞれ名前を付け、吹き出しは第1カギで囲んだ。
- ④ 巻末の内容項目別教材一覧は削除した。
- ⑤ 巻末の「『より良く生きる』ってどういうことだろう？」は書き込み枠を削除した。
- ⑥ 巻末の「道徳科の学びを振り返ろう」は「今学期(今期)の道徳科の学びを振り返ろう」とし、書

(別紙2)

き込み用枠を削除し、感想の選択肢にはア. ～エ. の符号をつけた。

- ⑦ 巻末の「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」は書き込み枠を削除した。
- ⑧ 「注」は原則として、奇数ページの欄外に記載した。注の量が多い補助教材は文章末に記載した。
- ⑨ 原典教科書のページは、「❶」で挟んでページ行の左側に掲載した。生徒への周知のために、目次の最後に、「墨字の教科書のページは、ページ行に❶❷❸❹のように書いてあります。」と記載した。
- ⑩ 差し替えやレイアウトを大きく変更した箇所については、本資料に「4 参考資料」として掲載した。

(2) 点字表記及びレイアウトについて

点字表記及びレイアウトについては、『日本点字表記法 2018年版』（日本点字委員会編集・発行）に拠った。

学年	原典ページ	行	変更事項	変更内容	備考
1-1	4	漫画	変更追加	「さあ、道徳を始めよう！」 漫画は、絵を削除し、場面の説明を加えた。 【資料1】	編集の具体的方針(3)-③による。
	14	19	追加	「2 おはよう」 語の説明を注として追加した。 ケツレイー礼儀を欠くこと。	編集の具体的方針(2)-④による。
	20	1	追加	「3 『どうせ無理』をなくしたい」 写真を削除しc語の説明を注として追加した。 注4：リサイクルマグネットーパワーショベルのアーム部につけ、廃材から鉄くずを見つけるためのマグネット。	編集の具体的方針(3)-①による。
	24-25	漫画	変更追加	「4 二人の言い分」 漫画は、絵を削除し、場面の説明を加えた。 【資料2】	編集の具体的方針(3)-③による。
	32	図	変更追加	「ひろば 誰がいじめを止めるのか」 中段の図「いじめ」の構造については、図を削除し、説明を追加した。【資料3】	編集の具体的方針(3)-③による。
	32	表	変更	下段の表を削除し、文章を以下のように変更した。 「それぞれの立場の人の…」 →「Aさん～Dさん、それぞれの立場の人の…」	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	33	下段	追加	「他の電話や、SNS等での相談窓口」に以下の文を追加した。 「まなびリンクの「補足資料」から、相談窓口について知ることができます。」	編集の具体的方針(3)-①による。
	34-35	図	変更	「6 いのちを考える」 絵を削除し、枠で囲んで、鳥、虫、水の生き物、哺乳類のカテゴリーに分け、それぞれ五十音順に記載した。	編集の具体的方針(3)-③による。
				「9 難民とともに ～緒方貞子～」	

(別紙2)

	90	1	追加	語の説明を追加した。 縁石 (エンセキ)	編集の具体的方針(2)-④による。
	91	上段	変更	「やってみよう」 本文を次のように変更した。 「…お年寄りが困った様子で周りを見回しています。」 →「…お年寄りが困った様子で立っています。」	編集の具体的方針(2)-③による。
	96-97	絵	変更	「18 『ちがい』について考えよう」 絵を削除し、状況の説明を追加した。【資料4】	編集の具体的方針(3)-③による。
	98	表	変更	表を、生徒自身がノートに筆記できる形に変更した。 【資料5】	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	100	12	変更	表を、次のように生徒自身がノートに筆記できる形に変更した。 「…そのことも書きましょう。」 →「…その番号と考えが変わった理由を書きましょう。」	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	103	下段	追加	「ひろば お互いの存在をいかし合える場」 写真は削除し、キャプションを次のように追加した。 (写真の説明) 地域のみんなで…みんな一緒に食卓を囲んでいる。	編集の具体的方針(3)-①による。
1-2	119 120 122	19 2 17		「22 幸せな仕事って」 「お天道様」 「太陽を見る」	編集の具体的方針(2)-②による。
	126	4	追加	「23 富士山を守っていくために」 語の説明を追加した。 湧水 (わきみず)	編集の具体的方針(2)-④による。
	131	3	追加	「24 伝えたい味」 語の説明を追加した。 甘味 (あまみ)	編集の具体的方針(2)-④による。
	138		追加	「26 それは個性」 漫画は、絵を削除し、場面の説明を加えた。 【資料6】	編集の具体的方針(3)-③による。
	144	表	変更	「やってみよう」 表を、次のように生徒自身がノートに筆記できる形に変更した。 1. グループで、次の個性を「よさ」に変えてみましょう。 (例) 飽きっぽい→いろいろなことに興味をもてる、世界が広がる ア. 物事をはっきり決められない イ. 一つのことこだわる ウ. 人の言うことが気になる エ. くよくよする オ. しきりたがり カ. 自分に自信がない キ. 大ざっぱ ク. 細かい	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	148	1		「27 よく生きること、よく死ぬこと」 「がん」	編集の具体的方針(4)による。

(別紙2)

					る。
	191	11		「35 僕の応援歌」 「発達に障がい」	編集の具体的方針(4)による。 *生徒の実態に応じて、十分な配慮が必要である。必要に応じて、障害特性についての客観的な説明を加えるなど、指導の工夫が必要である。 編集の具体的方針(3)-①による。
	191	写真	変更	写真は削除し、キャプションを記載した。 (写真の説明)「インドゾウの親子」(2021年・アクリル画)	編集の具体的方針(3)-①による。
	193	写真	変更	写真は削除し、キャプションを記載した。 (写真の説明)「動物園のなかまたち」(2019年・愛知県立とべ動物園開園30周年記念陶板)、嘉成さんが原画を作成した。	編集の具体的方針(3)-①による。
	194	写真	変更	写真は削除し、キャプションを記載した。 (写真の説明)「サンタロウちゃんと池田動物園の仲間たち」(2021年・アクリル画)	編集の具体的方針(3)-①による。
2-1	4	漫画	変更追加	「さあ、道徳を始めよう！」 漫画は、絵を削除し、場面の説明を加えた。 【資料7】	編集の具体的方針(3)-③による。
	8-9	漫画	変更追加	「1 お菓子、どうする？」 漫画は、絵を削除し、場面の説明を加えた。 【資料8】	編集の具体的方針(3)-③による。
	10	2	変更	図を削除し、文章を以下のように変更した。 「…それぞれの意見について、…」 →「…次の1.～3.の意見について、…」 「…を割合で示してみましよう。」 →「…を0～100の割合でそれぞれ書いてみましよう。」	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	17	図	変更	「2 まるごと好きです」 「やってみよう」 図を、次のように生徒自身がノートに筆記できる形に変更した。 「頭の中で…」 →「次のア.～オ.の人を頭の中で…」 ア. 家の人・親戚の人 イ. 友達 ウ. 先生 エ. 近所の人 オ. その他の人 「その人たちが…書いてみましよう」 →「ア.～オ.の人たちが…それぞれ書いてみましよう。」 「『私』の欄に整理してみましよう。」 →「整理して書いてみましよう。」 「書き込んだことから」 →「2.～3.で書いたことから」 「グループで見せ合い」 →「グループで紹介し合い」	編集の具体的方針(2)-⑥による
				「4 あなたの声、心に届け」	

(別紙2)

22-25			「障がい者」「聴覚障がい」「ろう学校」	編集の具体的方針(4)による。 *当事者の視点を加えることで、より深い学びにつながれるとよい。
27	下段 1	変更	「ひろば 気づこう『無意識の思いこみ』」 本文を次のように変更した。 「…を右の欄に書き出してみてください。」 →「…を書き出してみてください。」	編集の具体的方針(2)-⑥による。
38	地図	変更	「7 六千人の命のビザ」 「1940年頃のヨーロッパ」の地図を簡略化して点図で示した。 国名は、リトアニア・ポーランド・ドイツ・ソビエト連邦・ラトビア・スウェーデン、都市名は、カナウス・ベルリンのみ記載した。	編集の具体的方針(3)-②による。
44	写真	変更	本文中には杉原千畝の名前が登場しないため、写真は削除し、キャプションを次のように変更して本文の最後に記載した。 「杉原千畝・幸子夫妻」－外交官の千畝は、リトアニアで領事代理を務めました。	編集の具体的方針(3)-①による。
49	漫画	変更 追加	「8 心のアンテナ」 漫画は、絵を削除し、文章を実線枠で囲んで記載した。	編集の具体的方針(3)-③による。
51	上段 2	追加	写真は削除し、キャプションを次のように追加して本文中に記載した。 「作品に表現される…」 →「『葉っぱのアクアリウム』『素敵な空が見えるよ、明日もきっと』などの作品に表現される…」	編集の具体的方針(3)-①による。
	下段 2		「発達障がい」	編集の具体的方針(4)による。 *当事者の視点を加えることで、より深い学びにつながれるとよい。
62-65			「11 分身ロボットでかなえたいこと」 「病気」「障がい」	編集の具体的方針(4)による。 *当事者の視点を加えることで、より深い学びにつながれるとよい。
88	写真 1 2	削除 変更	「16 まだ食べられるのに」 写真は削除し、本文を次のように変更した。 「この写真を見てください。おいしそうなパンですね。」 →「ここに一枚の写真があります。写っているのは、袋詰めされたたくさんのおいしそうなパンです。」	編集の具体的方針(2)-③による。
89	グラフ	変更	グラフは表に変更した。【資料9】	編集の具体的方針(2)-⑤による。
91	写真	変更	写真は削除し、キャプションを次のように変更して本文の最後に記載した。 さまざまな取り組みの例	編集の具体的方針(3)-①による。

(別紙2)

				<p>1. 持ち帰りのための紙容器と、食べ残しゼロを進めている店に配られているステッカー（京都府京都市）。ステッカーには、「京都市食べ残しゼロ推進店舗」と表記されている。</p> <p>2. 家庭で余っている食品を集め、必要な人に届ける取り組み（埼玉県川口市）。食品を集めるコンテナの後ろに、『フードバンク埼玉』の取り組みを説明するパネルが設置されている。</p>	
	93	写真	変更	<p>「ひろば 暮らしの中のSDGs【持続可能な社会】」</p> <p>写真は削除し、キャプションを次のように変更して記載した。</p> <p>（写真の説明）名古屋市の学校給食にも使用されているフェアトレード商品（いりごま、ごま油）とフェアトレードタウンなごやの活動を応援する市のロゴマーク。ロゴマークには、シャチホコのモチーフと、「応援します フェアトレードタウンなごや」が表記されている。</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
		写真	変更	<p>写真は削除し、キャプションを次のように変更して記載した。</p> <p>（写真の説明）愛知県のエシカル消費ポータルサイト「エシカル×あいち」のホームページ画面。</p> <p>「私が変わる 未来を変える エシカル×あいち」</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	100-101	冒頭	変更	<p>「18 違反摘発」</p> <p>出典が明確になるよう、掲載位置をタイトルと問いの後に変更した。</p> <p>「18 違反摘発 問い」 →「違反摘発 問い （朝日新聞投書欄より）」</p> <p>「投書欄」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p> <p>編集の具体的方針(2)-①による。 *生徒の経験から具体的にイメージしづらいものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
2-2	108		追加	<p>「20 狂言師・野村萬斎物語」</p> <p>語の説明を追加した。</p> <p>猿の面<small>おもて</small>（めん）</p>	編集の具体的方針(2)-④による。
	110			<p>漢字の説明を次のように追加した。</p> <p>映画『<small>らん</small>』（せんらんの「らん」）</p>	

(別紙2)

114	1	変更追加	「21 わたしのせいじゃない」 場面に番号を付け、絵を削除し、場面の説明を加えた。【資料10】	編集の具体的方針(3)-③による。
119	1	変更追加	写真は削除し、次のように説明を追加した。 この子たちの現状は「わたしのせいじゃない？」 (写真1) 機関銃を手に警戒にあたる少年兵(コンゴ民主共和国) (写真2) じゅうたん工場で働く少女(アフガニスタン) (写真3) 飢餓に苦しむ子ども(ニジェール)	編集の具体的方針(3)-①による。
		変更	「学びの道しるべ」 本文を次のように変更した。 「114ページの写真の子どもたちの現状は」 →「(写真1)～(写真3)の子どもたちの現状は」	編集の具体的方針(3)-③による。
124	1		「23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」 「悪性腫瘍」	編集の具体的方針(4)による。 *生徒の実態に応じて十分な配慮が必要である。
142	1	追加変更	「ひろば たくましく生きる」 2枚のクスノキの写真を見て気づいたことを問う内容を、写真の説明を読んで考える内容に変更した。 【資料11】	編集の具体的方針(2)-③による。 編集の具体的方針(3)-③による。
143	13	追加	語の説明を注として追加した。 注2：葉音一葉っぱが触れ合って生じる音	編集の具体的方針(2)-④による。
144-149			「27 たったひとつのたからもの」 「ダウン症」	編集の具体的方針(4)による。 *生徒の実態に応じて十分な配慮が必要である。
151-152	写真	変更	「28 伝えるということ」 写真は削除し、キャプションを本文の最後に記載した。	編集の具体的方針(3)-①による。
170	6	変更	「32 復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～」 写真は削除し、キャプションを本文中に記載した。 「後藤新平」 →「後藤新平(1857～1929)」	編集の具体的方針(3)-①による。
175	1		「人のお世話にならぬよう」	編集の具体的方針(4)による。 *人の手助けは障害のある生徒にとって、自立と社会参加を考える上で不可欠である。当事者の視点を加えることで、より深い学びにつなげられるとよい。
184			「35 語りかける目」 「語りかける目」	編集の具体的方針(2)-②による。
3-1			「さあ、道徳を始めよう！」	

(別紙2)

	102 103	写真	削除 変更	「ひろば アラスカを見つめ続けて」 写真を削除した。 本文を次のように変更した。 「こう変わってしまいました」 →「氷が溶けて無くなってしまいました」	編集の具体的方針(3)-① による。 編集の具体的方針(3)-① による。
3-2	108- 113			「19 カーテンの向こう」 「奇病」「重い病気」「治る見込みがない」などの表現, 病院から外の様子を見ることへの憧れと, 見えないことへの絶望等	編集の具体的方針(4)による。 *生徒の実態に応じて十分な配慮が必要である。
	114			「20 専門家であること」 「協働」	編集の具体的方針(2)-④による。 *「協働」と「協同」は同音異義語で, 本文から判断しにくいいため, 意味の説明を加える等の配慮が必要である。
	114	11		「科学者」	編集の具体的方針(2)-④による。 *「科学者」と「化学者」は同音異義語で, 本文から判断しにくいいため, 意味の説明を加える等の配慮が必要である。
	118	下段	変更	「21 若者議会」 衆議院総選挙における年代別投票率の推移(総務省資料)のグラフは, 50~60歳代, 平均, 10歳代, 20歳代の年代を抽出した上, 簡略化し折れ線グラフで表した。	編集の具体的方針(3)-②による。
	119	漫画	変更 追加	若者議会の様子を描いた漫画は, 絵を削除し文章化した。【資料17】	編集の具体的方針(3)-③による。
	120	写真	変更	リーフレットは削除し, キャプションを次のように変更し, 本文の最後に記載した。 (リーフレットの説明) リノベーションされた図書館の様子を知らせるリーフレット。改修は, 若者議会の提案で市の政策として実施された。	編集の具体的方針(3)-①による。
	140- 141	下段	変更	「26 家族の思いと意思表示カード」 「臓器提供意思表示カード」は, (参考)として, 本文の後に実線枠で囲んで記載した。表面下段の電話番号やHP等は省略した。【資料18】	編集の具体的方針(4)による。 *「臓器提供意思表示カード」は, 参考として原典教科書に掲載されているため, そのまま点字化してある。生徒の実態に応じて十分な配慮が必要である。
	141	下段		「眼球の提供」	編集の具体的方針(4)による。 *生徒の実態に応じて十分な配慮が必要である。

(別紙2)

3

女子1 が家でソファに座って携帯電話を見ている

女子1 「友達グループにいっぱい招待されてる！」

4

女子1 が携帯電話を見ながら疑問に思っている

女子1 「“友達いっぱい”といえは“いっぱい”だけど……。」



【資料2】 「4 二人の言い分」 (1年 P.24-25 漫画)



□□□□1

□□その日の帰り道——。エレナとハルトが歩いて帰りながら話している。

□□ハルト 「先にしてきたのはリョウマじゃん。僕は思ったことを言っただけで……。」

2

ハルト 「それをいじめだなんて、おおげさだよな。」

エレナ 「……。」

3

エレナがハルトに紙を渡す

エレナ 「ねえハルト。これ。」

ハルト 「ん？」

4

ハルトが紙を見ながら

ハルト 「どうしたらいじめをなくせるか……？」

エレナ 「今日うちのクラスで配られたの。来週、学活で話し合おうんだってさ。」

5

ハルトが紙に書かれたことを読む。

ハルト 「『された人が心身の苦痛を感じている行為はいじめです。法律でも禁止されています。』」

6

ハルトは、リョウマが「これっていじめだよ」と言ったことを思い出す

ハルト 「……僕がしたことはいじめだったのかな。でも、先にリョウマが……。」

7

エレナ 「心身の苦痛って感じ方は人それぞれだから一つ一つを判断するのは難しいと思う。ハルトがリョウマに傷つけられたなら、それはいじめ。でもリョウマもハルトに傷つけられたと言うなら、いじめなのかも……。」

8

ハルト 「……じゃあ、どうすればよかったんだろう。」

エレナ 「うーん… ハルトの気持ちはわかるけど……。」

9

エレナ 「今は、お互いに傷つけ合ってるだけみたい。このままじゃ寂しいって私は思うな。」

10

(別紙2)

エレナ 「それにハルト、やり返して気持ちが晴れたわけじゃないでしょ？」

ハルト 「……！ うん……。」

11

エレナ 「じゃあ、どうすればスッキリするか一緒にがんばって考えよ！」

エレナはハルトの背負っているリュックをバンッとたたく。

ハルト 「いって！！」

エレナ 「あ、ごめん！ これもいじめになっちゃうのかな……。」



【資料3】 「ひろば 誰がいじめを止めるのか」 (1年 P.32 図)

(参考：いじめの四層構造 (森田洋司による))



□□□□「いじめ」の構造

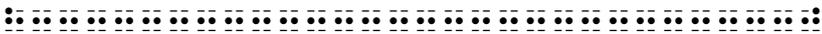
□□いじめが起きている集団にいる人々を四つの同心円状に分けて構造を示した図です。中心から順に四つの円で囲んでいます。

□□一つ目(中心)の円 —— いじめられている人(被害者), Aさん

二つ目の円 —— いじめている人(加害者), Bさん

三つ目の円 —— おもしろがっている人(群衆), Cさん

四つ目(外側)の円 —— 気づいていないふり・見て見ぬふりの人(傍観者), Dさん



【資料4】 「18 『ちがい』について考えよう」 (1年 P.96 表)

□□1. 野球場に、Aさん、Bさん、Cさんが野球の応援に来ました。でも、前に、背の高い壁があります。壁の高さは、Aさんのあご、Bさんのおでこのあたりです。Cさんの身長は壁より低いです。三人のうち、試合を見ることができるのは誰でしょうか。

□□2. 三人が試合を見ることができるよう、三人に「おなじ」台を配りました。でもCさんは、まだ試合を見ることができません。

□□三人が満足できるようにするには、どうすればよいでしょうか。

【資料5】 「18 『ちがい』について考えよう」 (1年 P.98 絵)

□□□□ワーク1

□□次の1.~3.は、A~Dについて考えます。

□□A 好きな歌、本や動画、趣味

□□例 ダンス動画を見ること、ゲーム

B 好きなおかず、デザート

例 ナゲット、ゼリー

C 戦争をやめさせるにはどうすればよいと思うか

(別紙2)

10

D 「えっ たとえば……」

11

D 「食虫植物育ててるところとかー」

12

ミズナが必死に手で食虫植物の形を表現しながら話す。

ミズナ 「だって！だって！すごいんだよ！こう！ガバッて！」

13

D 「あははは」

14

ミズナ 「……変？」

D 「変！」

15

無言になるミズナ。

16

ミズナが座ってDさんに話す。

ミズナ 「このまえも部活の友達になぞって言われたんだ。

考えてみたら昔からそういうことよく言われてて……」

17

ミズナ 「私だけが世界からズレてる気がして……」

18

少し黙るDさん。

19

D 「でもさ みんなそんなミズナを受け入れてくれてるじゃん？」

20

D 「だったら 『変』 ってつまり 『おもしろい』 とか 『すごい』 とか」

21

D 「『新鮮みがあってサイコー』 ってことじゃないの？」

驚いた表情のミズナ。

22

ミズナがDさんの方を見る。

23

D 「だいたい『普通』 ってなに？ 『普通』 な人なんかひとりもないよ きっと」

24

D 「私だって……」

ミズナ 「あー〇×君が好きなことか？」

25

D 「やっぱ変？」

ミズナ 「変！変！」

26

(「変」は個性、「変」はサイコー。人がみんな同じだったら世の中成り立たないもんね)

(別紙2)



【資料7】 「さあ、道徳を始めよう！」 (2年 P. 4 漫画)



□□□□ 1

□□黒板の前で小林さんが板書を消しながら

小林 「わ～ん、板書多くて消し終わらないよ～。」

鈴木 「手伝おうか？」

2

二人で板書を消しながら

小林 「ありがとう！」

鈴木 「困った時はお互いさまだよ。」

3

並んで席に座って

佐藤 「問題集やってなかった！見せてくれない？」

スミス 「しょうがないなあ……。」

4

答えを写し終わった佐藤さんが立ち去りながら

佐藤 「ありがとう！助かった。」

スミス 「…。」



【資料8】 「1 お菓子、どうする？」 (2年 P. 8-9 漫画)



□□□□ 1

□□今年は2年生。1学期に宿泊学習がある。1泊2日、バスで「自然の家」に行く。

2

学級の話し合いの場面、女子1は司会。いくつかのルールは、自分たちで決めてよいことになっている。

女子1 「では持ってきていいもの、ダメなものについてですが……。」

3

女子1 「持ってきていいものは目覚まし時計、トランプ…。持ってきてはいけないものは、ボードゲーム、スマホ……。」

4

クラスメイトが女子1の話を聞いている。

女子1 「以上に決まりました。」

5

女子1 「次は、お菓子について……。」

6

男子1 「オレ、1万円分買っていくー！！」

(別紙2)

7

女子2「友達と部屋で集まってお菓子パーティを開いてもいい？」

8

男子2「何も決めなくてもお菓子は完全自由でいいと思うけど？」

9

クラスメイトが、わーわー自由にしゃべっている。書記の男子3に向かって

女子1「なかなかまとまらないね……。」

10

女子1が全体に向かって

女子1「旅行中はバス移動の時間が長く、お菓子を食べるタイミングもあると思います。まずは、今出た三つの意見について話し合いたいと思います。」



【資料9】「16 まだ食べられるのに」(2年 P.89 グラフ)



□□□□児童・生徒1人当たりの年間の食品廃棄物の発生量

□□□□計□□17.2kg

□□調理くず□□5.6kg

食べ残し 7.1kg

その他 4.5kg

□□平成26年度 学校給食センターからの食品廃棄物の発生量・処理状況調査結果



【資料10】「21 わたしのせいじゃない」(2年 P.114-118)

□□両手で顔をおおって泣いている男の子と14人のクラスメート。

□□クラスメート一人ひとりの言い分。

□□□□1

□□「学校のやすみじかんに あったことだけど わたしのせいじゃないわ」

……

□□□□9

□□「たたいてもわたしはへいきだった みんなたたいたんだもの わたしのせいじゃないわ」

□□14人のクラスメート。泣いていた男の子はいない。

□□□□10

□□わたしはせいじゃない？

【資料11】「ひろば たくましく生きる」(2年 P.142-143)

(別紙2)

3

女子2 「そういうわたしは、太ってるわ」

4

男子3 「僕は背が低い」

5

全員 「ほんとだ みんな違うじゃん！ハハハハハハ」

廊下を歩く先生が生徒たちを振り返る

わたしの「ふつう」と、あなたの「ふつう」はちがう。

それを、わたしたちの「ふつう」にしよう。

一人ひとり、「ちがい」があるのは当たり前。

多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。

愛知県・愛知県教育委員会



(2) 外国人の人権問題

1

「ルール守れ！」の張り紙

日本人男性 「うわ～！お隣さん、また家の前にゴミ袋出してるよ～」

(これだから外国人は…)

2

捨てられていたゴミ袋を外国人男性に示しながら

日本人男性 「この町内では、指定の場所にまとめてゴミを出すんだよ」

外国人男性 「What! ?」

3

外国人男性 「ありがとう！日本のルール、難しくて分からなかった

Sorry…」

4

日本人男性 「そうだったんだ… 他に困りごとはない？」

外国人男性 「Wow!!」

5

この日をキッカケに、お隣さんと仲良くなった

外国人男性の部屋で、テレビのサッカーの試合を見ながら盛り上がる2人

外国人男性 「Go! Go!」

わたしの「ふつう」と、あなたの「ふつう」はちがう。

それを、わたしたちの「ふつう」にしよう。

一人ひとり、「ちがい」があるのは当たり前。

多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。

愛知県・愛知県教育委員会

(別紙2)



(3) 性的少数者の人権問題

1

後輩が先輩に告白している

後輩 「先輩、ずっと前から好きでした つ、つ、つきあって下さい〜！」

2

困っている先輩

先輩 「ごめん 実は、僕、女性を好きになれないんだ」

3

後輩 (ガーン)

4

しばらくして、一人で考える後輩

後輩 (先輩は、自分が同性愛者であることを告白してくれた恋は実らなかったけどそんな彼だからこそ、好きになったのかもしれない)

わたしの「ふつう」と、あなたの「ふつう」はちがう。

それを、わたしたちの「ふつう」にしよう。

一人ひとり、「ちがい」があるのは当たり前。

多様な価値観を受け入れて、お互いの個性を認め合いましょう。

愛知県・愛知県教育委員会



【資料14】「8 舁き縄」(3年 P.51 絵)

※参考資料「博多祇園山笠大全(西日本新聞社 2013年)」より



博多祇園山笠での役割

先走りー舁き山笠の先頭を走る。招き板やのぼりを持った子どもや、招き旗を振るお年寄りの姿が多くみられる。

鼻取りー鼻取りは左右の一番棒の表と見送りに一人ずつの計4人。鼻縄を手に、山笠の暴走を食い止め、道筋に誘う、船でいえば舵取りの役を担う。

水当番ー山笠が通る先々で勢い水の手配をし、水桶に貯めて、山笠が通る時には山笠や舁き手に水をかける。

あと押しー舁き山笠は、「山笠を後ろから押す」男たちの力で前に進む。先頭の列は、見送りの棒鼻に手をかけて山笠を押し、その後方の列は、前にいるあと押しを押し。

あと走りー見送り、あと押しなど各部署の交代要員のほか、一般参加者からなる。地味な位置ではあるが、舁き山笠に勢いをつける重要な役割を担う。

(別紙2)

会話をしながら歩き出す二人

12

ミオリ 「ちひろー」

ちひろ 「ミオリ！ おそーい。」

ミオリ 「ごめん。」

13

ちひろ 「電車来るよ 急ごう。」

14

スマートフォンを見ながら階段を上るちひろ

ミオリ 「ちひろ 前しっかり見て。歩きスマホは危ないよ。」

15

いい雰囲気を出しているミオリと宗像

16

ちひろ 「えー？ なになに。」

17

ちひろ 「ちょっとお 二人して何いい雰囲気出してんのよ。」

ミオリ 「ちひろ いいから前，前！」

【資料16】「ひろば 歩きスマホについての意識調査」(3年 P.75 図)

「やめましょう、歩きスマホ。」に関する調査(2022年 電気通信事業者協会)より「首都圏エリア」の数値(複数回答)



1. 歩きスマホに関する普段の意識・行動

歩きスマホは危ないと思う 96.9%

普段から歩きスマホをしないように注意・意識している 90.3%

歩きスマホをすることがある 49.3%

2. 歩きスマホをしてしまう主な理由

移動しながら時刻表や地図アプリを使用するのが便利だから 41.7%

SNSやメールなどでのやりとりをタイムリーにしたいから 23.1%

スマートフォンを見るのが癖になっているから 20.5%

メールを見たり、文字を打つのについ夢中になってしまうから 19.0%

SNSのやりとりについて夢中になってしまうから 18.1%

移動中に退屈になるから 15.3%

気になるウェブサイトやニュース、情報などをすぐに見たいから 14.2%

スマートフォンのゲームの操作について夢中になってしまうから 13.1%

ウェブサイトを見ている時について夢中になってしまうから 12.4%

周りのみんながやっているから 6.8%



(別紙2)

3. 私は, 臓器を提供しません。

1. 又は2. を選んだ方で, ……

(心臓肺肝臓……………)

特記欄

署名年月日

本人署名 (自筆)

家族署名 (自筆)

